

アイエスエイ社製製品との連携

連携製品：「警子ちゃん 4GX DN-1500GX」

ゾーホージャパン株式会社

2017年7月更新

■ 著作権について

本ガイドの著作権は、ゾーホージャパン株式会社が所有しています。

■ 注意事項

このガイドの内容は、改良のため、予告なく変更することがあります。

ゾーホージャパン株式会社はこのガイドに関しての一切の責任を負いかねます。

当社はこのガイドを使用することにより引き起こされた偶発的もしくは間接的な損害についても責任を負いかねます。

■ 商標一覧

記載の会社名、ロゴ、製品名の固有名詞は各社の商号、商標または登録商標です。

なお、本ガイドでは、(R)、TM 表記を省略しています。

目次

警子ちゃん側の設定.....	3
OpManager 側の設定.....	4
その他検証済み機種.....	5

本ドキュメントでは、ManageEngine OpManager と、アイエスエイ社「警子ちゃん 4GX DN-1500GX」
 (以下、合わせて「警子ちゃん」と略称)との連携手順についてご説明します。
 警子ちゃんでは、RSHまたは IRSH コマンドの実行により制御を行うことが可能です。

警子ちゃん側の設定

(1) 警子ちゃん側にて予め決められているコマンド (引数を含む) を用いるので、設定は不要です。詳細は、
 アイエスエイ社様 (<http://www.isa-j.co.jp>) にお問合せください。

(実行例)

内容	コマンド
赤色ランプ点灯	irsh 192.168.1.101 -l root ACOP 10000000
黄色ランプ点灯	irsh 192.168.1.101 -l root ACOP 01000000
緑色ランプ点灯	irsh 192.168.1.101 -l root ACOP 00100000
ランプ全色消灯	irsh 192.168.1.101 -l root ACOP 00000000
赤色、緑色ランプ点灯	irsh 192.168.1.101 -l root ACOP 10010000
黄色ランプ点灯ブザー音	irsh 192.168.1.101 -l root ACOP 01001000
緑色ランプ点滅ブザー音	irsh 192.168.1.101 -l root ACOP 00200000
アラート時動作の終了	irsh 192.168.1.101 -l root AL0F

(以下、DN-1500GL のみ有効)

内容	コマンド
登録音声(No.01)の連続再生	irsh 192.168.1.101 -l root SPOP 10100000
登録音声(No.01)の停止	irsh 192.168.1.101 -l root SPOP 00000000
ランプ、ブザー、 音声動作の終了	irsh 192.168.1.101 -l root AL0F

OpManager 側の設定

(2) rsh または irsh.exe を OpManager インストールフォルダ直下に配置します。

例: C:\ManageEngine\OpManager\bin\irsh.exe

(3) OpManager にログインします。

(4) [設定] タブ > [監視] > [通知] リンクをクリックします。

(5) [追加] > [プログラム実行] をクリックします。

通知プロファイル



図: [設定] タブ - [監視] - [通知] - [プログラム実行] 画面

(6) プロファイル詳細設定欄にて次の設定を行います。

項目	設定内容
プロファイル名	適切なプロファイル名を入力します
コマンド	IRSH を入力します(絶対パスを指定)
プログラム引数	<警子ちゃんの IP アドレス> -l <警子ちゃんのログイン名> <コマンド文字列> 例: 「図: [設定] タブ - [監視] - [通知] - [プログラム実行] 画面」 参照

(7) 設定が終わったら、[次へ] ボタンをクリックします。

(8) プログラムを実行する条件を設定し、設定した「通知プロファイル」を監視対象装置に関連付けます。

これ以降の設定方法は、OpManager の操作マニュアル「ユーザーガイド」手順 6 以降をご参照ください。

http://help.opmanager.jp/run_program_v12

その他検証済み機種

4GX DN-1500GX

4G DN-1500G

DN-1000S

DN-1000R

*基本的に RSH サーバー機能をサポートする機種は、上記手順にて連携できます。

なお、IRSH の実行プログラムファイルの取得はアイエスエイ社にお問い合わせください。

アイエスエイ社より OS が Windows の場合は IRSH の利用が推奨されています。OS が Linux の場合、内部 RSH を使用します。

以上